



所沢市議会議員

VOL 9 3 令和 7 年 7 月号

だれ一人見捨てない政治。



赤川ようじの 市政レポート

〒359-1151 埼玉県所沢市若狭3-2383-25

TEL:04-2947-3965 FAX:04-2947-3966 メール:tokorozawa@y-akagawa.jp

赤川ようじ公式ホームページ

y-akagawa.jp



6月議会報告

高齢者支援について市長に質す。ところバス無料化など

6月議会一般質問で高齢者支援について市長に質しました。まず公約のところバス、ところワゴンの高齢者の無料化についていつ実施するのか、遅れている理由について質問しました。部長答弁は無料にすると、バス・タクシーの運行業者の営業に影響が出るので、昨年度から調整中との事で、現在運行業者には1億3000万もの補償金を払っており、無料化すると更に1500万を払う必要があるとの事でした。市長は子ども支援には学校給食無償化、高校生までの子ども医療費など力を入れているが、高齢者支援には手薄なのではないかと市長に訴えました。ところバス・ところワゴンの無料化は令和8年度実施に向け実施していく事、また今後高齢者支援についても積極的の予算をつけていくとの答弁でした。超高齢化社会の中バランスの取れた予算配分をこれかも求めていきます。

老人憩の家の風呂廃止についての問題点を指摘する。

本年度から長らく行われてきた、老人憩の家・老人福祉センターの入浴サービスが廃止される事が決定されました。廃止の理由は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い施設の運営において感染症の発生、事故等の予防のためとの事で、浴場施設は経費や改修に伴う経費が見込まれる事から今後限られた資源を配分する必要性は低下しており、介護予防など社会変化の応じた新たな取り組みを検討するとの答弁でした。また今後より魅力ある施設として、これまで以上の多くの市民のご利用いただけるように検討するとのことでした。しかし新たなサービスとの何かと質問したところ今検討中とのことで、新たなサービスを決めてから廃止するべきと訴えました。来年度から実施するとの事ですので市民に納得されるサービスが実施される事を今後とも求めていきます。

生活困窮者の支援を求めました。

一般質問

30年間続く不景気、コロナによるショック、さらに天井を知らない物価高、実質賃金は下がり・年金の上がらず市民生活は厳しい状況で、ひとり親家庭の4人の1人は貧困、高齢者の4人に1人は貧困と言われています。実際の調査で国民の6割は生活が苦しいと答えており、いつ誰が貧困に陥るか分からない状況です。その中で、生活保護の一手手前の生活困窮者のための市の支援体制について質問しました。今市内の生活保護者は令和7年度3973世帯で生活困窮者は相談があっただけで1733件とされています。本年度より生活困窮者自立支援法の改正が行われ、その支援のために「こどもと福祉の未来館」に「所沢市あったかサポートセンター」があり、居住支援、生活支援、就労支援、子どもの学習支援を行っていますが、もっと気軽に相談できるように周知方法などの改善を求めました。また生活保護にならないように丁寧に相談者に寄り添う相談窓口にしていくように求めました。



不登校について教育長に質しました。

所沢市内において、不登校児の数が増えており、令和5年度は小学校では338人、中学校では524名と、年々増加しています。国では令和5年に誰1人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」が出され、校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）を設置し、つながりの場として寄り添ったサポートが求められています。このサポートルームの全校への設置の陳情も出ており、これについての教育委員会の見解を聞いたところ、全校に設置を目指していきたいとの答弁でした。最後に教育長へ不登校に対する考えを聞いたところ「不登校は大人社会へ生徒達の要望として捉え、多様な地域、家庭との多様なつながりを大切に対応していきたい」との答弁でした。不登校を只問題行動として捉えるのではなく、寄り添った丁寧なつながりから多様な対応を求めています。

市政報告会のご案内

日時 2025年6月28（土）午後2時～

会場 所沢駅西口駅前 西武百貨店8階バンケットルーム



赤川ようじの市政ホットライン 04-2948-8899